

Pit II (ピットツー)

取扱説明書

ピットIIを快適にお使いいただくための大切な内容が記載されています。
お使いになる前によくお読みいただき、また必要なときにはいつでも
見ることができるよう大切に保管してください。

ピットIIの特徴

- 軽量、折りたたみ式
- メカニカルロックによるティルト式
角度可変機構
- 角度調節もおこなえるヘッドサポート
折りたたみ機構
- 前座(股関節)角度可変機構
- 張り調節式背座スリング
- 座奥行き調節
- 座面高さ調節
- 外転パッド付の座シートクッション
- オプション部品による姿勢保持機能
を充実



目 次

- 安全にお使いいただくために P1~2
- 各部の名称 P3
- 製品構成 P3
- オプション P3
- 使用前点検 P3
- 各部の取り扱い P4~10
- 調節スリングについて P10
- 折りたたみ方 P11~12
- 開き方 P11~12
- お手入れメンテナンス P13
- 仕様 P13

 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

●警告 (使い方を誤ると、死亡または重傷を負う可能性が想定される事項です。)

 本書記載以外の使用はしないでください。

 本人以外での使用はしないでください。他の人に譲り渡したり、貸し出したりしないでください。(補装具の制度で製作した場合)

 本人を乗せたまま放置しないでください。

 はしづみをつけたり、つき放したりしての移動(走行)はしないでください。
不安定な場所での使用はしないでください。

 踏み台など他の用途での使用はしないでください。

 本人を座席や背もたれ、フットサポート等に立たせないでください。

 折たたみおよび開き操作の途中の段階での使用はしないでください。

 屋外での使用中に雷が鳴りだしたら、すぐに降りて安全な場所に移動してください。

 本人を座らせた状態で、抱えて移動しないでください。

 処方上、また安全上必要とされたシートベルト類は必ず使用してください。
(身体状況などによりベルトの使用が困難な場合は、処方者や取り扱い業者にご相談ください)

 乗せ降ろしをするときは必ずブレーキをかけてください。

 フレームの折れ・曲がり、ベルト類のやぶれやマジックテープの劣化、各部が破損した状態での使用はしないでください。

 子供に操作させないでください。

 坂道での駐車はしないでください。

 火気に近づけないでください。シートが燃えたりフレーム本体が熱くなり、火傷するおそれがあります。

 自動車の中では使用しないでください。

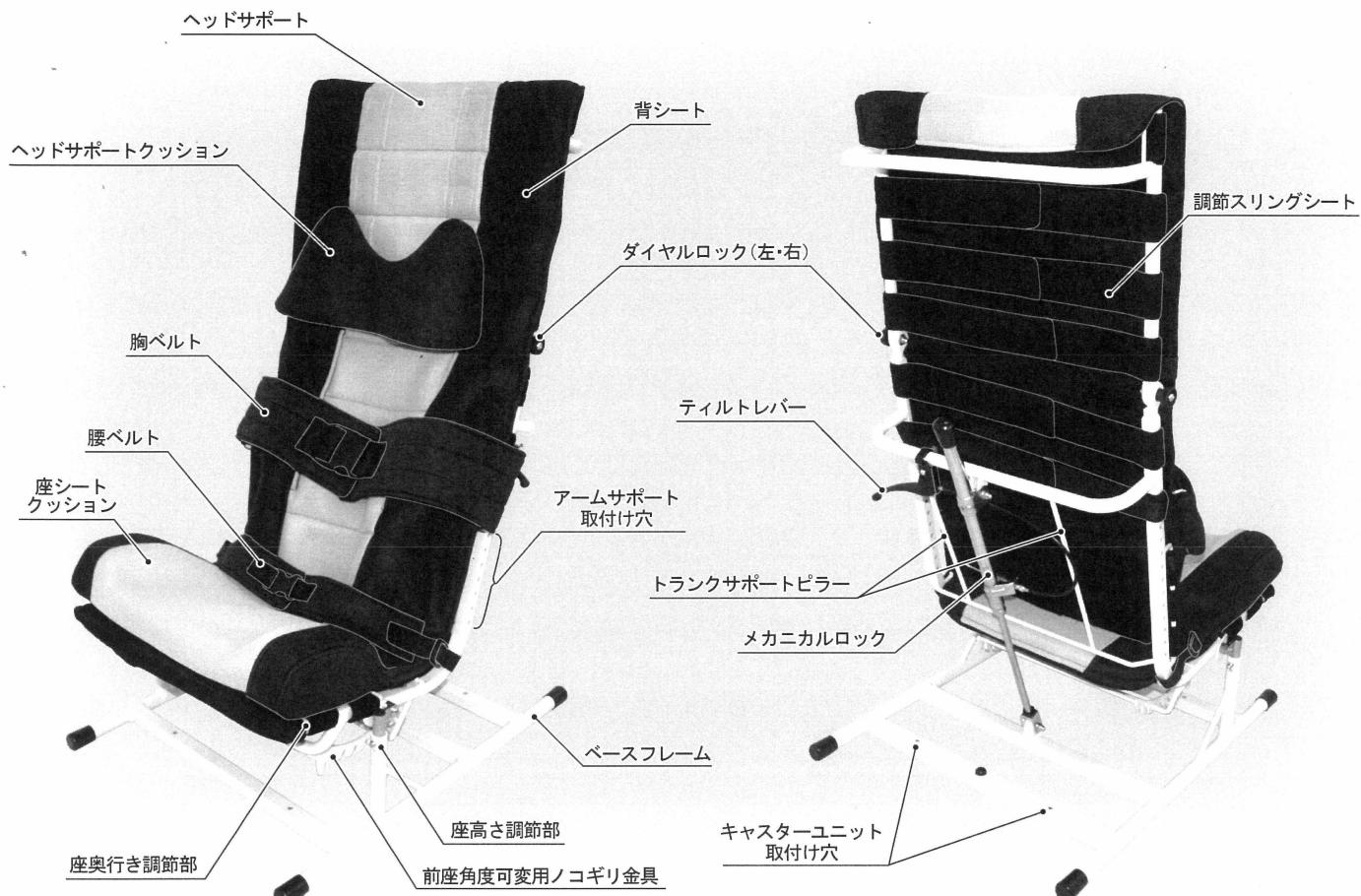
 改造や分解はしないでください。

●注意 (使い方を誤ると、人が傷害を負う可能性、または物理的障害が発生する可能性が想定される事項です。)

- ① 医師の処方で製作された場合。
 - ② 本人以外での使用はしないでください。
(個人用に処方されたものとなりますので、安易に貸し出したりしないでください。)
 - ③ 処方目的以外での使用はしないでください。
- ④ 折りたたみおよび開き操作のときは各部が連動して動きます。指などをはさまないよう注意して操作をおこなってください。
- ⑤ 折りたたみおよび開き操作時には床などを傷つけるおそれがありますので、注意して取り扱ってください。
- ⑥ 本人が座った状態でのティルト操作は、体重がかかり急に倒れことがありますので十分に注意してください。
- ⑦ 屋外での使用は、天候により本体に様々な影響ができます。十分に注意して使用してください。
- ⑧ 周辺に小さなお子様がいるときは、指や手足をはさむなどして、けがをするおそれがありますので十分に注意して使用してください。
- ⑨ 座席から身体を乗り出したような姿勢では使用しないでください。
- ⑩ 二人乗りなど多人数での使用はしないでください。
- ⑪ 押し手グリップに重い物を引っ掛けないでください。(後方に倒れことがあります。)
- ⑫ 子供を背もたれなどにぶらさがらせないでください。背もたれなどに子供がぶらさがったりすると、後方に転倒する可能性があり大変危険です。
- ⑬ 子供の遊び道具として使用しないでください。
- ⑭ 保護者・介助者等が寄り掛かったり、腰掛け・踏み台として使用しないでください。
- ⑮ 調節スリングシートやインナーパッドが不適切な状態での使用はしないでください。
- ⑯ シートを外した状態での使用はしないでください。
- ⑰ 気温の差の激しい場所や異常に高温な場所(車中など)に製品を放置しないでください。フレームが痛むばかりでなく、熱くなったフレームで火傷をしたり高温になったシートに座ることで、体調に悪影響をおよぼすことがあります。
- ⑱ 本人の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じことがあります。そのような場合には直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。
- ⑲ 本人の体調が著しく低下しているときは、十分に注意して使用してください。
- ⑳ ティルトなど角度可変の設定に注意してご使用ください。角度設定については処方者・医療機関・セラピストに相談確認の上ご使用ください。
- ㉑ 長時間座らせたままにしないでください。時間設定については処方者・医療機関・セラピストに相談確認の上ご使用ください。
- ㉒ 定期的に処方者・取り扱い業者のチェックを受けてください。
- ㉓ からだに合わない状態での使用はしないでください。本人の成長や状態の変化を感じたときは、すみやかに処方者のチェックを受け、適切な指導のもとに取り扱い業者の調整を受けてください。
- ㉔ 各部のガタやねじのゆるみなどは、思わぬ事故につながることがあります。定期的に不具合がないか確かめてください。
- ㉕ 製品をゆすったり、踏んだりなどの乱暴な取り扱い、落としたり、たたいたりなど強い力や衝撃を与えないでください。フレームが破損することがあります。
- ㉖ 水にぬれた場合、そのままにしておくと部品に錆びが出ることがあります。乾いた布ですみやかに拭きとってください。メカロック・ガスタンパーなどは特に水にぬらさないよう注意してください。
- ㉗ 本製品は屋内用です。屋外での使用は控えてください。
- ㉘ 荷物等の運搬に使用しないでください。
- ㉙ 保管するときは、湿度の高いところ、雨が降りかかるところを避けて、風通しのよい屋根のあるところで保管してください。

使用を取りやめるときには(不要になったときには)取り扱い業者にご相談ください。

各部の名称



製品構成

数 量	
● 基本フレーム	1
● 調節スリングシート(背・座)	1
体幹サポート インナーパッド	体 幹 左右1対
骨 盤	左右1対
キャリングバッグ	1

● シートユニット	数 量
背シート	1
座シートクッション	1
ヘッドサポートクッション	1
胸ベルト	1
腰ベルト	1

オプション

トランクサポートベルト
骨盤サポートベルト
アームサポート金具
レッグサポート・フットサポートユニット
組み立て式テーブル 天板(クッション内張り) 高さ調整用台座
キャスター単位

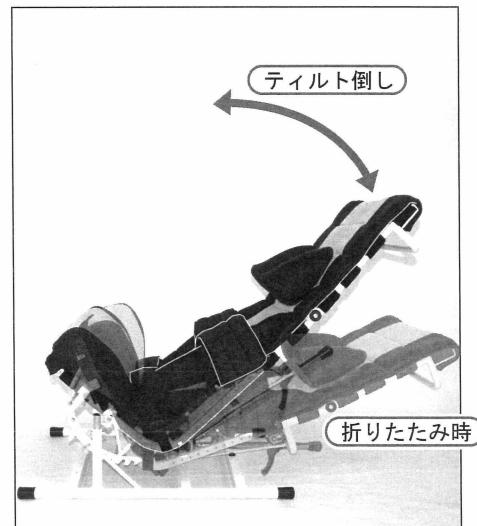
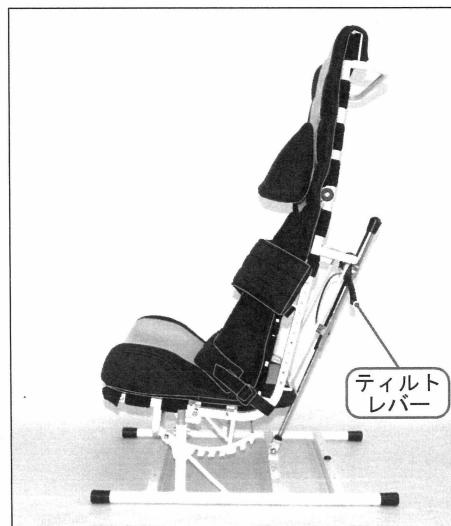
使用前点検

- 折りたたんだ状態から開いて使用する際は、ヘッドサポートのダイヤルロックや前座角度設定など、各部の状態が正しい設定で、しっかりと固定されていることを確認してください。
- ティルトや座面の角度調整の動きがスムーズにおこなえるか確認してください。
- ネジのゆるみやガタがないことを確認してください。

各部の取り扱い

● ティルト操作について

背面と座面の開き角が一定のまま、リクライニング(ティルト)します。ティルトレバーを握るとロックが解除され、握ったまま任意の角度に設定したら、レバーをはなしてください。その角度でロック(角度固定)できます。また、最大倒れ角度は折りたたみ時の設定となりますので、ティルト倒し操作の際は注意してください。



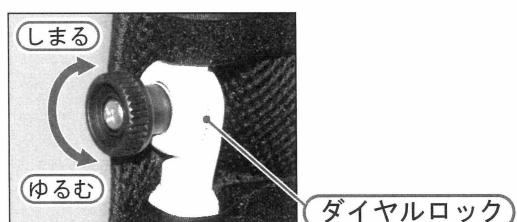
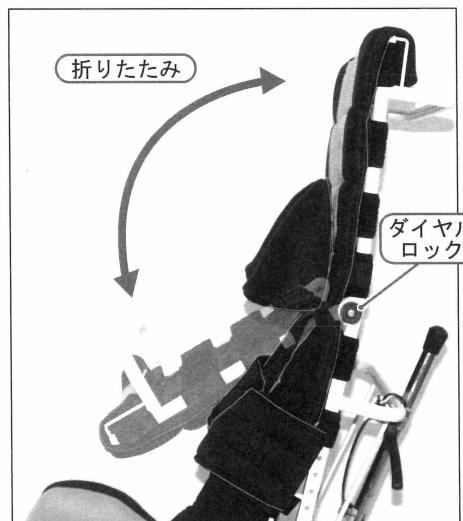
- ・ティルト角度を変えるときは必ず両手で操作してください。座っている方の重さで急にリクライニングすることがあり大変危険です。
- ・ティルトレバーのあそびが多くなってきたらワイヤーの張り調整をおこなってください。
- ・お子様には絶対に操作させないでください。

● ヘッドサポートについて

PITⅡを折りたたむときに、ヘッドサポートを前方へ折りたたみます。ヘッドパイプ左右にあるダイヤルロックの黒いノブネジを緩めると、ヘッドパイプのダイヤルロックが解除されてフリーになります。

ヘッドサポートクッションを取り外し、前方へたたんだら、再びノブネジを締め込んでください。また、折りたたみだけではなくヘッドサポートの角度調節もおこなえます。ダイヤルロックの刻み位置により、ヘッドサポートの角度を屈曲方向、もしくは伸展方向に変更することができます。

(ダイヤルロックの刻みは7.5度設定です)



- ・折りたたみの際は、手ばさみなど十分に注意して操作してください。
- ・折りたたみから開いたとき、またはヘッドパイプの角度を変更したときは、ノブネジを左右ともに、しっかりと締めてください。片側のみを締めこむだけでは固定が十分にできないため、使用中に急に角度が変わってしまうなどして首にダメージを与えるおそれがあり危険です。また、ヘッドパイプのダイヤルロックが破損するおそれもあります。使用前に左右の締めこみを必ずチェックしてください。



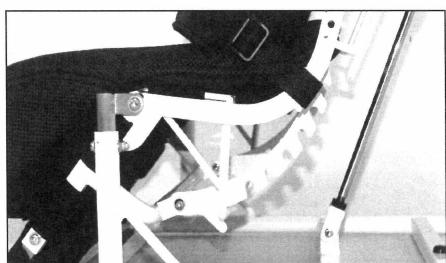
各部の取り扱い

●前座角度可変機構について

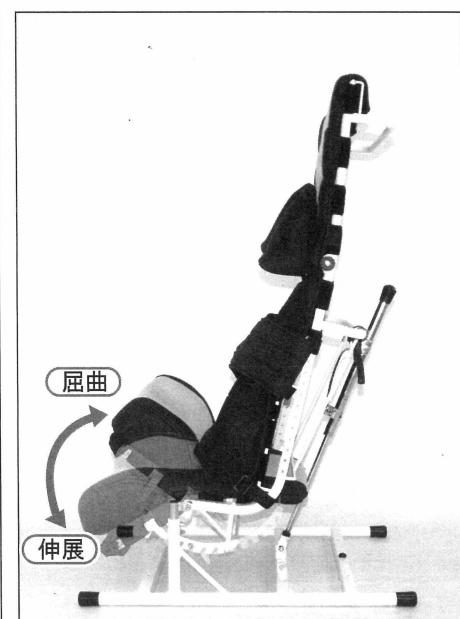
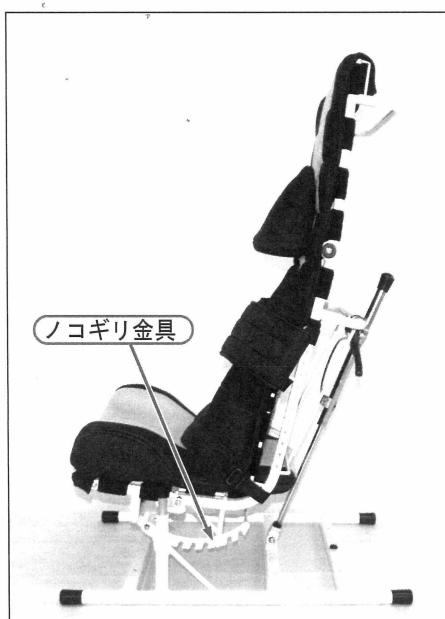
使用者の身体状況、使用場面に応じて股関節の角度調節がおこなえます。座面下のノコギリ金具により、前座角度が股関節で屈曲方向、伸展方向に設定できます。1段階約14度間隔です。

操作するときは、基本的に降りてからおこなってください。やむなく座ったままで調節する場合は、前座にかかる足の重さを前座フレームと一緒にしっかりと支えるようにして、ノコギリ金具を操作してください。

また、折りたたみ時には、伸展方向に最大開き(開放)の設定にしてください。



ノコギリ金具最大開き(開放)

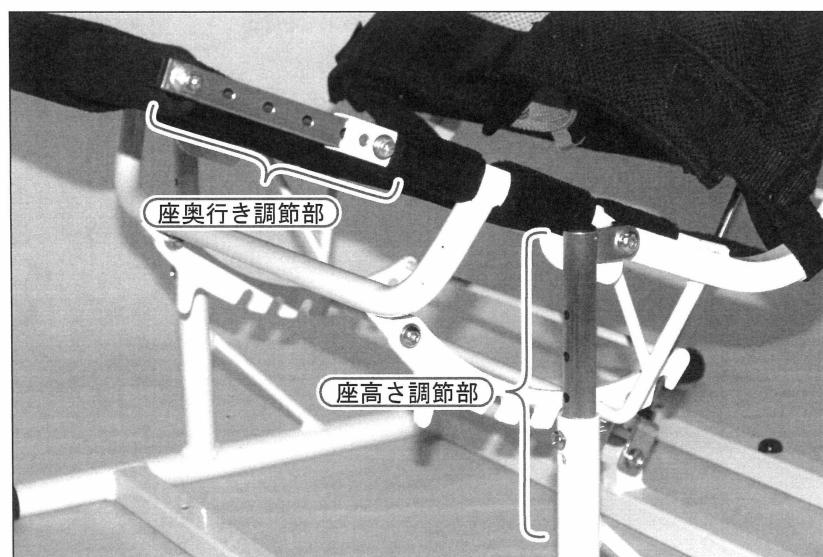


- 操作する際は、手ばさみなど十分に注意してください。
- 子どもに操作させないでください。
- 適切な角度設定については、医療機関のお医者様やセラピストにご相談ください。

●座奥行き調節と高さ調節について

使用者の大股長、下股長、また成長変化によって座面の奥行きと座面(全体)の高さ調節がおこなえます。ボルトナットを差し換えて適切な長さに設定してください。

座面の奥行き、高さともに10ミリ間隔で調節できます。



- 座面の高さを上げると、ティルトを起す角度範囲が少なくなります。最大起こし角度を確保したい場合は、部品交換が必要となります。取り扱い業者へご相談ください。

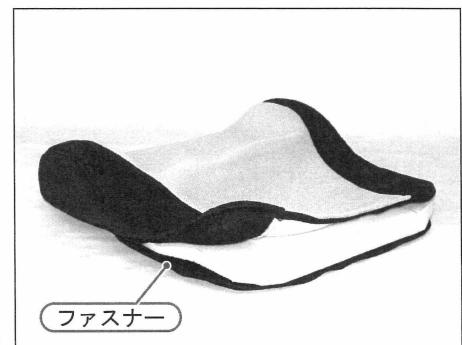
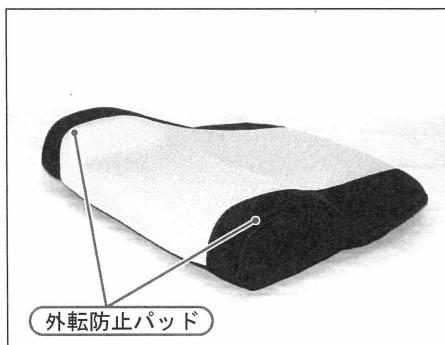
各部の取り扱い

●座シートクッションについて

座シートクッションは、臀部の前すべりを防ぐ目的のアンカーサポート(ウェッジ)と脚の開きを支える外転防止パッドを備えています。

クッションの形状でアンカーサポートの機能をもたせていますが、さらに座スリング調節で矢状面方向の調節をおこなうこともできます。

カバーを洗濯する際は、後方のファスナーを開けて、必ず中に入っているウレタンクッションを取り出してください。

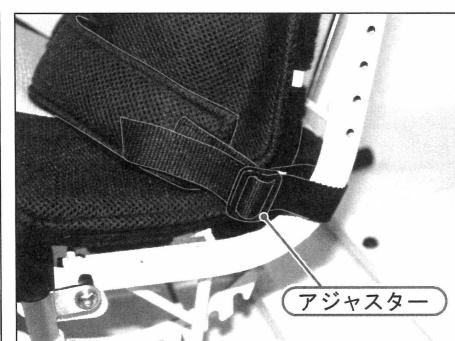
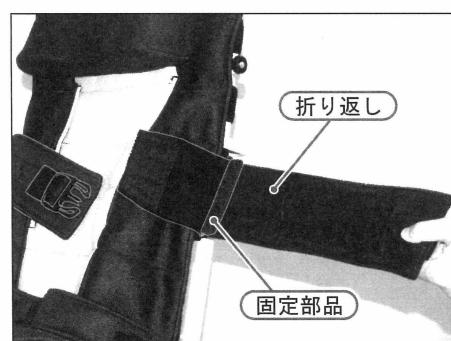


- 決してクッションが入ったままで洗濯しないでください。ウレタンクッション、カバーともに乾かないばかりか、ウレタンクッションそのものが劣化してしまいます。

●胸ベルト・腰ベルトについて

体格差、成長変化によって、取り付け位置や長さの調節がおこなえます。胸ベルトは、「胸ベルト固定部品」の取り付け位置で高さ調節、「胸ベルト固定部品」の折り返し部分で長さ調節がおこなえます。

腰ベルトは、座フレーム後方に取り付けます。取り付け部にある織ベルトのアジャスター部品で長さ調節がおこなえます。胸ベルト・腰ベルトともに、正面のバックルを力ちと奥までしっかりと差し込んで、外れないことを確認してください。



- 処方上、必要とされたベルト類は、安全のために必ず装着してください。
- ベルト類の装着は、バックルを力ちと奥までしっかりと差し込んで外れないことを確認してください。
- バックルを装着する際は、指はさみに注意してください。

各部の取り扱い

● トランクサポートベルト・骨盤サポートベルト（オプション）

[トランクサポートベルト]

身体により近い、背シートのダブルファスナーからベルトを取り出しているため、外側からの胸ベルトよりも高いホールド力を得ることができます。

長さと取り付け高さの調節がおこなえます（マジック式）。

取り付けの際、高さを合せる目安としては、わきの下に指一本分のすき間を空けるようにしてください。

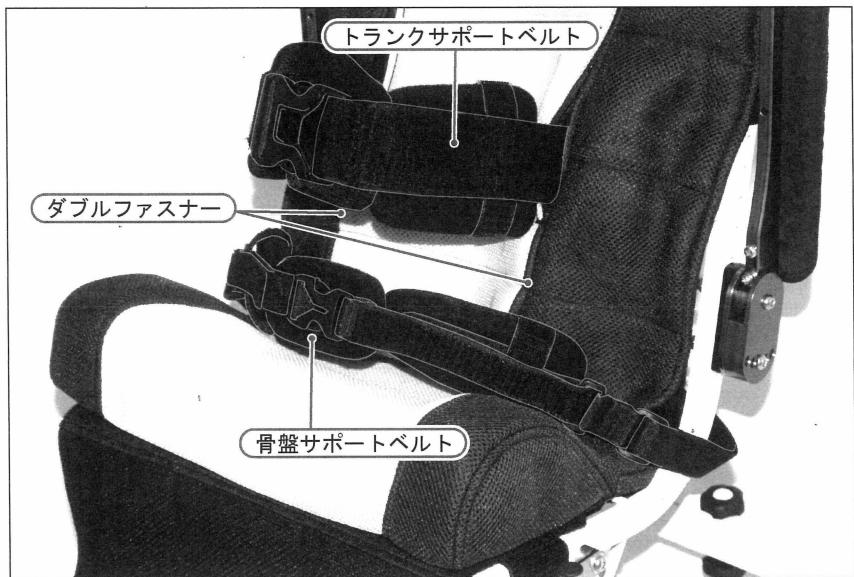
開口部のダブルファスナーは、ベルトにあたるところまで上下からしっかりと閉じてください。正面のバックルを力チッと奥までしっかりと差し込んで、外れないことを確認してください。

[骨盤サポートベルト]

クッション性の高い腸骨パッド（左・右）によりベルトの当たりをやわらげ、またサポート力を高めるためにバックルの左右にあるマジックテープでベルトの締め加減の微調整をおこなうことができます。

（この微調整はベルト装着後におこなうことも可能です。）

ベルト全体の長さは、取り付け部のアジャスターで調節してください。



- ・処方上、必要とされたベルト類は、安全のため必ず装着してください。
- ・ベルト類の装着は、バックルを力チッと奥までしっかりと差し込んで外れないことを確認してください。

● アームサポート（オプション）

使用される方の肘の高さ、または上肢（机上）活動のしやすい高さに合わせて、アームサポートを取り付けてください。

（ボルト・ナットによる差し替え式です）
また、横から乗せ降ろしときには、はね上げて開閉することができます。



- ・開閉のロックはついていません。手ばさみや衣服のかみこみに十分注意してご使用ください。
- ・身体状況や成長変化により、高さ設定を変える際は、医療機関もしくは取り扱い業者にご相談ください。
- ・アームサポート金具に取り付ける肘当て部については、当社の木製の肘当て以外に、使用状況に合わせて個別に製作される場合も考えられます。

各部の取り扱い

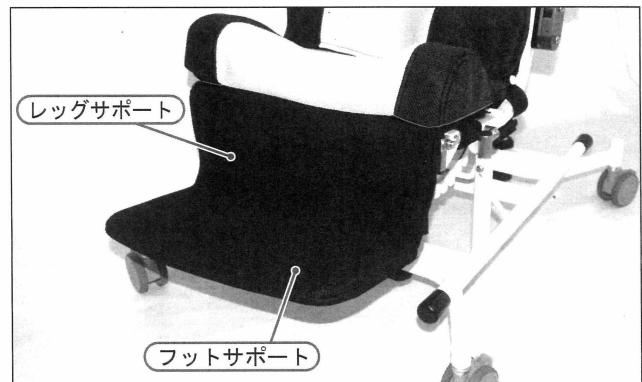
●レッグサポート・フットサポート（オプション）

レッグサポート・フットサポートを取り付けることができます。使用される方の大腿長、下腿長に合わせて設定してください。ボルトナットの差し換えで調節がおこなえます。座奥行きは10ミリ間隔で、フットサポートの高さは10ミリ間隔で調節できます。

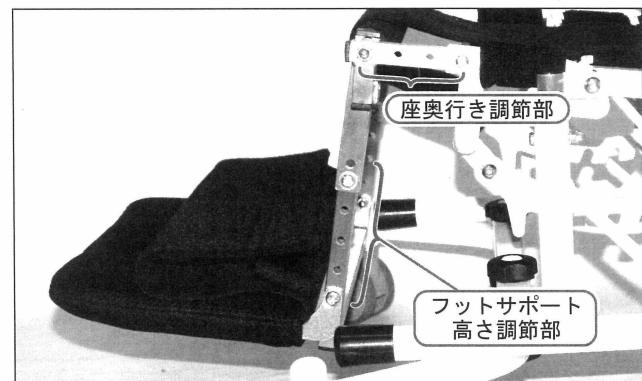
レッグサポートは、取り付け部の穴にボルトナットを組むと膝の角度設定ができます。また、フットサポートも取り付けボルトの長穴の範囲内で角度調節がおこなえます。

※レッグサポートを取り付ける場合は、専用の座奥行きパイプが必要です。

※フットサポートのみの取り付けはできません。



- ・レッグサポート、フットサポートともに開閉のロックは付いていません。手ばさみなど十分に注意してください。
- ・身体状況や成長変化により各部の設定を変える際は、医療機関もしくは取り扱い業者にご相談ください。

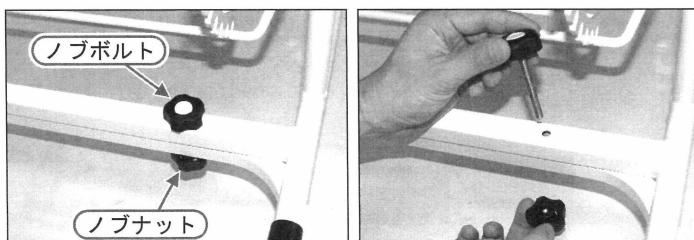
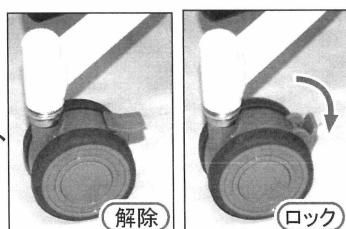


●キャスターユニットⒶ（オプション）

室内での移動や座ったままでの向き替えなどで使用します。ノブボルト、ノブナットによる脱着式ですので、折りたたみ時には取り外すことができます。

乗り降りの際は、必ずキャスターのロックをかけてください。

キャスターについているプレートを下げるときブレーキがかかり、プレートを上げると解除されます。



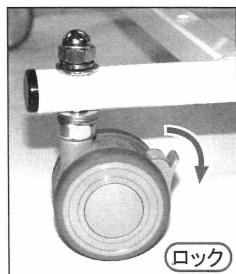
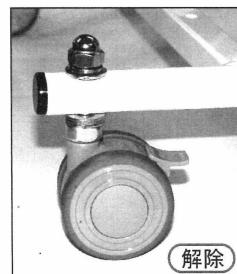
- ・取り付ける際は、ノブボルト、ノブナットをしっかりと締めこんでゆるみが無いことを確認してください。また、キャスターユニットと本体パイプの間に砂粒など異物がないことを確認して取り付けてください。ノブボルト、ノブナットがゆるい状態、または異物がはさまったままで組んでしまうと、ガタが発生して不意に外れてしまう可能性もあり安全に使用できません。
- ・本キャスターのブレーキはトータルロック式ではありません。キャスターの車輪の回転は止まりますが、首振りは止まりません。
- ・ブレーキをかけたまま、本機をひきずるとキャスターが破損するおそれがあります。特にじゅうたんやクッション性の高い床面などすべりにくいところでは注意してください。

各部の取り扱い

●キャスター⑧(※出荷時オプション)

室内での移動や座ったままでの向き替えなどで使用します。「キャスター ユニット」とは異なり、本体そりフレームに直接ボルト、ナットで固定するため、脱着はできません。ブレーキ付きでキャスターに付いているプレートを下げるときブレーキがかかり、プレートを上げると解除されます。

乗り降りの際は、必ずキャスターのロックをかけてください。

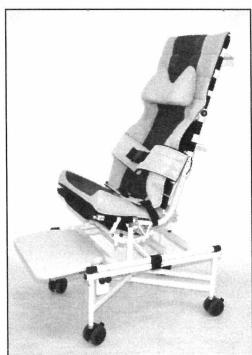
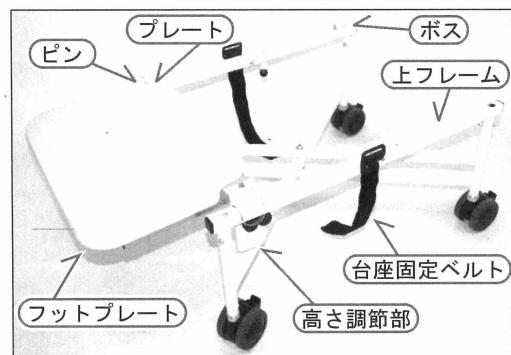


- ・本キャスターのブレーキはトータルロック式ではありません。キャスターの車輪の回転は止まりますが、首振りは止まりません。
- ・ブレーキをかけたまま、本機をひきずるとキャスターが破損するおそれがあります。特にじゅうたんやクッション性の高い床面などすべりにくいところでは注意してください。

●高さ調整用台座

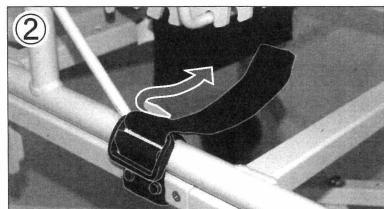
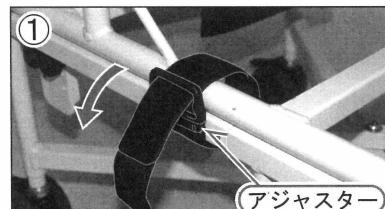
Pit II 本体を載せて使用するフットサポート付の台座です。床上での活動やダイニングテーブルでのお食事など、それぞれ高さの異なる生活場面に合わせて使用することができます。

※キャスター⑧が付いている場合は、搭載できません。キャスター⑨の場合は、キャスター ユニットを取り外すと搭載できます。

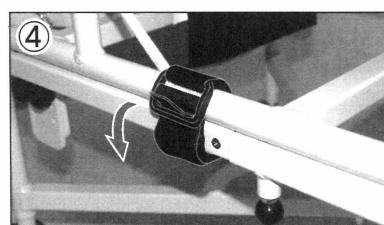
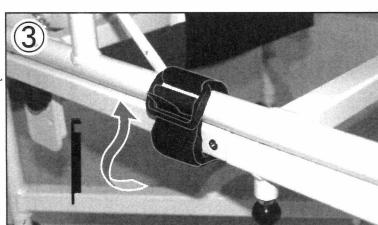


●Pit IIの搭載方法

台座の上フレーム前方にあるプレート(左右)の内側にPit II本体を落とし込むようにしてセットします。このとき台座の上フレーム後方左側のボスとPit IIベースフレーム底面の穴が合うように位置を決めてください。台座上フレームにPit IIベースフレームがすき間なく載っていることを確認したら台座固定ベルトで外れないように固定(①～④)してください。



台座のフレームとPit IIのそりフレームの両方をベルトで内側から巻いてアジャスターに通す。

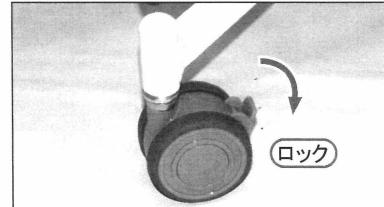
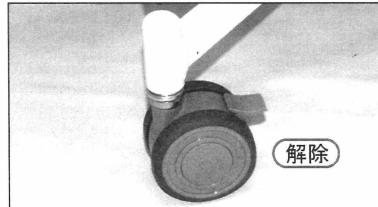


巻いたベルトをアジャスターの下側に通す。

アジャスターを通したら、折り返してマジック面をしっかりと貼り付ける。

●キャスター

キャスターはブレーキ付きです。キャスターに付いているプレートを下げるときブレーキがかかります。プレートを上げると解除されます。



各部の取り扱い

・ フットサポートの高さ調節について

フットサポートの高さは、Pit II を台座に搭載した状態で下腿長に合わせて調節してください。ボルト(片側2本)での差し換えて高さ調節がおこなえます。

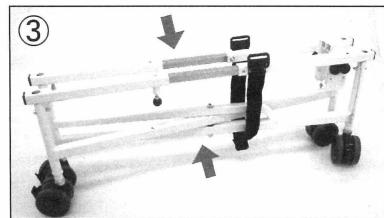
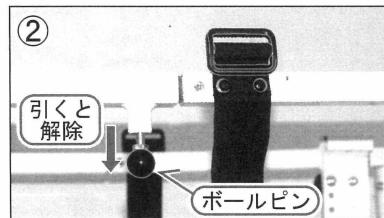


台座を折りたたむ際はフットサポートを取り外す必要があります。

・ 台座の折りたたみ方法

持ち運びや収納時には、台座を折りたたむことができます。折りたたみの方法は、①フットサポートを取り外す。(プッシュピンによる抜き差し)
②台座上フレームにあるポールピンを解除したまま、
③左右からつぶすようにたたんでください。開くときは、逆の手順でおこなってください。

フットサポートのプッシュピンは、親指でピンを押したまま抜き差ししてください。



- ・ Pit II 本体を載せるときは、必ず台座のキャスターのブレーキをロックしてください。
- ・ 乗り降りのときも、必ずキャスターのブレーキをロックしてください。
- ・ フットサポートの抜き差しや台座を折りたたむ際は、手ばさみに注意してください。
- ・ 小さなお子様に操作させないでください。

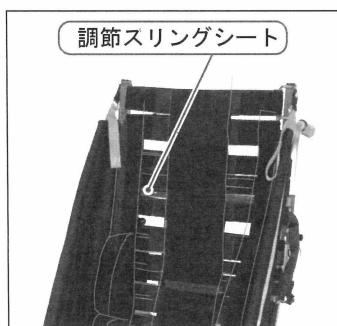
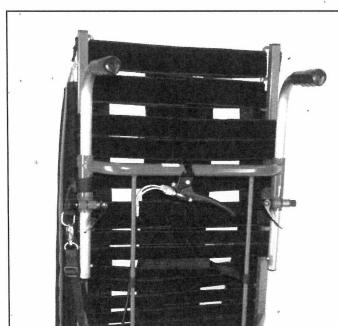
・ 専用バッグ

Pit II 専用のキャリングバッグです。折りたたんだPit IIを入れて持ち運ぶことができます。キャスター単位④を取り付けている場合は、取り外した方がバッグに入れやすくなります。(キャスター④の場合は取りはずしできません。)



- ・ アームサポートやフットサポート、キャスター単位などオプション部品が多数付いている場合は、少々入れにくくなります。ご了承ください。
- ・ Pit II 専用のキャリングバッグですので、それ以外には使用しないでください。

調節スリングシートについて



- ・ 使用される方の身体特性に個別に対応し、後方リクライニングしたシートにゆったりと体をあずけていられるように背・座のシート張り調整をおこなうことを目的としたものです。
- ・ 骨盤が前方に滑り出しにくくなるよう、また体幹部を背もたれにゆったりとあずけていられるように(前方に押し出されないように)調整します。



座面は臀部(座骨周辺)をゆるめてお尻を包み込むようにし、座骨前方から大腿部はピンと張って臀部を安定させ、前滑りを起きにくくするのが一般的です。

① 長期間使用するうちにスリングシートに伸びが生じることがあります。このようなときはシートの張り具合を再度調整してください。

折りたたみ方



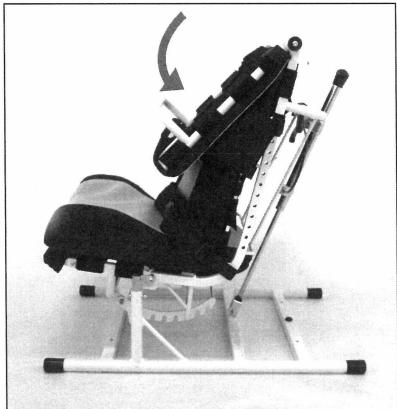
- ・折りたたみおよび開き操作のときは各部が連動して動きます。指などをさまないよう注意して操作をおこなってください。
- ・周辺に小さなお子様がいるときは、特に注意してください。
- ・傾斜や段差がある不安定な場所では作業をおこなわないでください。
- ・折りたたみおよび開き操作時は床面等を傷つけることがありますので十分注意して取り扱ってください。

1



ヘッドサポートクッションを外してください。

2



背フレーム左右にあるダイヤルロックを解除してヘッドサポートをたたんでください。たたんだらノブネジを締め込んでください。

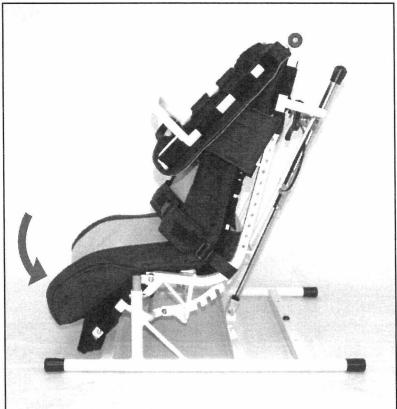


手ばさみ注意！



ダイヤルロック

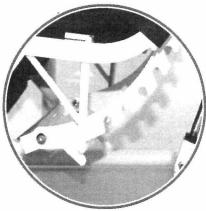
3



前座角度可変のノコギリ金具を操作して、下げるの設定にしてください。



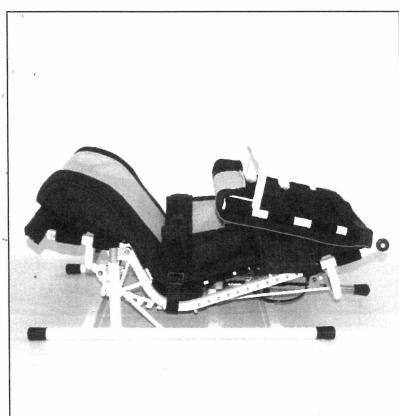
手ばさみ注意！



ノコギリ金具

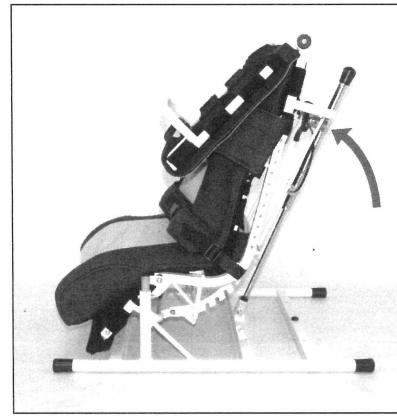
開き方

1



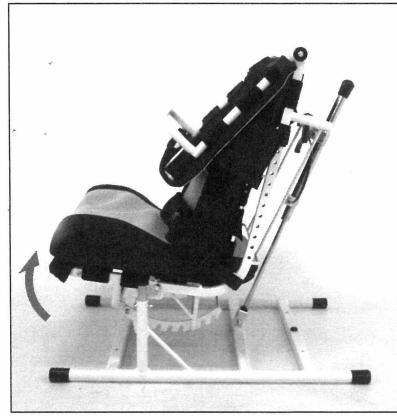
専用バッグから取り出して、床に置いてください。

2

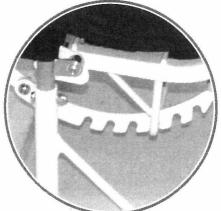


ティルトレバーを操作して起こしてください。

3

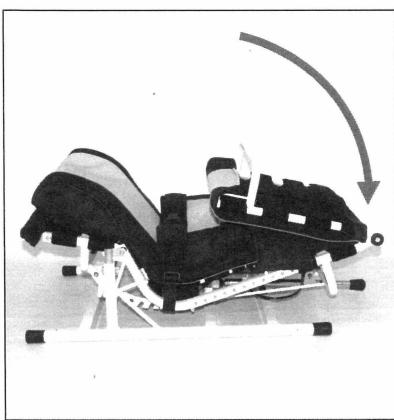


ノコギリ金具を操作して、前座角度設定を任意の位置に設定してください。



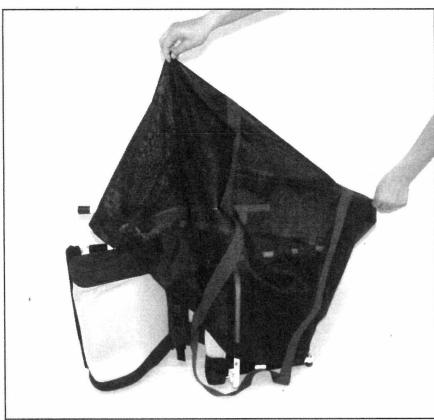
ノコギリ金具

4



ティルトレバーを操作し、ティルトをおしきって折りたたみ完了です。

5



専用バッグに入る際は、PIT II 本体を横に立てて、上から被せる方法もあります。

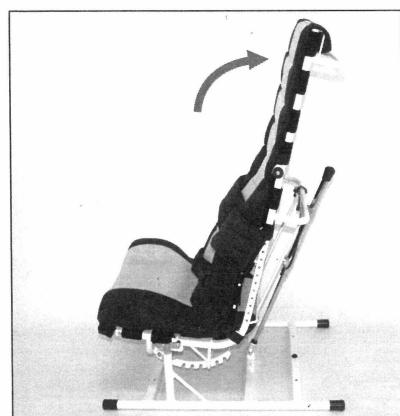


専用キャリングバッグに入れた状態。



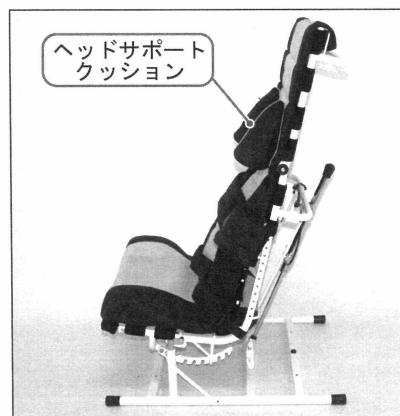
手ばさみ注意！

4



ダイヤルロックを操作してヘッドパイプを開いてください。開いたら任意の角度に設定してください。

5



ヘッドサポートクッションを任意の高さに貼り付けてください。



手ばさみ注意！

お手入れ・メンテナンス

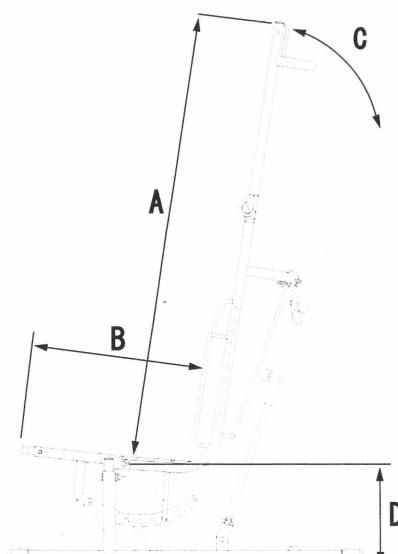
- フレームは絶対に水をかけて洗わないでください。フレームなどの各部汚れは固絞りした布で拭きとってください。
※フレーム塗装部分は、たわしなどで強くこすると傷が付き、塗装が剥がれことがあります。
- 特にメカニカルロックに水がかかると故障の原因になります。水に濡れたときは乾いた布ですみやかに水気を拭きとってください。
- 可動部分の動きが悪くなった場合には、その部分の汚れをきれいに取り除き、潤滑油等を適量さしてください
- シートを洗うときは、マジックテープをすべて相手側に接着した状態で、きれいに折りたたみ、軽く押し洗いするか、洗濯ネットに入れるなどして、生地を傷めにくい方法で洗ってください。洗ったあとは、すみやかに陰干しして乾燥させてください。
(インナーパッド、ヘッドサポートは、ファスナーによる開閉式です。ファスナーを開き、中のクッションを取りだしてからカバーを上記の要領で洗濯してください。)
- 調整や修理などは、まず取り扱い業者にご相談ください。

仕様

		Sサイズ	Mサイズ	Lサイズ
座幅	mm	360	385	410
背高さ (A)	mm	625	700	760
座奥行き (B)	mm	205~245	235~295	285~365
基本重量 ※1	kg	約6.3	約6.8	約7.2
ティルト角度 (C)	度	約78°~約22°(倒しきりまで)		
ティルト支点高さ (D)	mm	164~234	164~234	174~244
フットサポート高さ(前座~足台)※2	mm	130~190	170~250	◀
キャスター付台座高さ (床~フレーム上面)※2	mm	280~370	◀	◀
前座角度可変	度	水平より屈曲33度・水平より伸展39度 (※1)		
フレーム		ベースフレーム=アルミ材、背・座フレーム=ステンレス材		
調節スリングシート		マジックシート・テープ=ナイロン100%		
シートユニット		メッシュ生地=ポリエステル 100%		
対応身長の目安	cm	90~110	100~130	120~140

※1 基本重量=基本的なシートユニットを取り付けた場合の重量

※2はオプション品



取り扱い業者・連絡先